

🌱 ノートをとってみよう！

「コミュニケーション学概論」という講義の様子です。実際にどんなふうにノートをとったらいいか、見てみましょう。

先生が話した内容

はい、じゃあ、始めましょう。先週配ったプリントは持っていますか？先週は、切り口によってコミュニケーションがいろいろに分類できることを確認しましたが、今日はまず、改めて、広い意味でコミュニケーションとは何か、どういうふうに定義できるのか、というあたりから話を始めていきたいと思います。

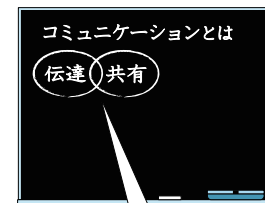
コミュニケーションとは？と聞いて、ぱっと思い浮かぶのは、伝えるという機能ではないでしょうか。けれども、コミュニケーションはそれだけじゃない。伝えたあとどうなるか、ということまで視野に入っている。人に何かを伝えたら、その人とその何かを分かち合うことができます。何かを伝達し、共有する。でも一体、何をでしょう？

受け渡しされるのは情報です。それらの情報は、心理的に意味のあるメッセージであり、感情…思考…知覚、といったものを含んでいます。

それじゃあ、そういった情報はどのようにして伝えられるのかと言うと、まさに今、私がしているように、言葉を使って、ということがまず考えられます。けれども、必ずしも言葉にしないと感情や思考や知覚は伝わらないか、と言ったらそうでもない。動物は、人間のような言葉は話さないけれども、コミュニケーションしながら生きていますよね。そうすると人間も、言葉以外の部分でコミュニケーションをしていることも、実は多いことに気づくでしょう。

先生の板書とノートが全然違うことを確認しよう。

先生の板書



何かを伝達し、共有する

ノートの例

